

学校だより

みなみよしい

令和6年度
南吉井小学校
第7号



5年生 集団宿泊活動

僕が一番楽しかったのは、キャンプファイヤーです。夜にみんなで遊ぶことがないので、なんだかワクワクしました。火が熱く燃え上がっていてきれいでした。みんなでじゃんけん列車や爆弾ゲームをしたりマイムマイムを踊ったりしました。みんなでわいわい入ったお風呂はいつもと違って楽しかったです。 5松



一番心に残ったことは、野外炊飯です。僕は、ご飯を炊く係でした。初めは心配だったけれど、友達の協力があり上手に作れました。班のみんなに「おいしい。」と言われたので、とてもうれしかったです。レインボーハイランドではいろいろなことを学びました。これからの生活に生かしたいです。 5松

1日目一番楽しかったのは、キャンプファイヤーです。その中でも一番楽しかったのは、じゃんけん列車です。一回目は、応援に来てくれた露口先生が一番前でした。みんな悔しがっていましたが、2回目に勝ったのは、渡部秀仁君でした。後ろについていた子も自分も先生もみんなで喜びました。とても楽しい1日目になりました。 5松

私が一番楽しかったのはキャンプファイヤーです。火の周りではくだんゲームやじゃんけん列車をしてとても楽しかったです。マイムマイムも楽しかったです。二番目に楽しかったのはオリエンテーリングです。班のみんなと一緒にチェックポイントを探すのが楽しかったです。

5梅

私はレインボーハイランドに行って、とても良い経験になりました。一番心に残ったことは、班のみんなで協力して野外炊飯をしたことです。カレーを作るだけでもやるのが多くて、とても大変でした。だけど、班のみんなで協力するとすぐに完成しました。協力して作ったカレーは今まで一番おいしかったです。宿泊活動に行って、いつもわたしのためにいろんなことをしてくれる家族に対して感謝の気持ちが大きくなりました。

5竹

野外炊飯では、みんなと協力して、野菜を切ったりお皿を洗ったりしました。完成したカレーは、いつものよりもおいしく感じました。キャンプファイヤーでは、火の神から健康の火を受け取って、宗祐君と二人でセリフをきちんと合わせて言うことができました。今回の経験を学校生活にも生かしていきたいです。 5梅

初めての宿泊活動で、私はとても楽しみにしていました。班長として班のみんなを引っ張っていけるように頑張りました。2日目のオリエンテーリングでは、少しハプニングがありました。ですが、とても楽しかったです。

今回学んだことを生かして、修学旅行でも楽しみたいです。良い思い出になりました。 5竹

キャンプファイヤーでは、みんなで歌を歌ったりじゃんけん列車をしたりして楽しかったです。オリエンテーリングでは、班のみんながはぐれることもあったけど楽しかったです。

カレー作りでは、自分たちだけで作るのちょっと不安だったけど、おいしく作れました。宿泊活動は不安もあったけど、楽しく活動することができました。 5竹



集団宿泊活動で、僕は食事係でした。集合時間に余裕を持って行動することができ、回数を重ねるごとにスムーズに作業をすることができました。また、飯ごう炊さんやキャンプファイヤー、オリエンテーリングなど、みんなと活動することで親睦をより深めることができたので良かったです。 5梅



みなさん、「子どもの権利条約」って知っていますか？

みなさんは、「子どもの権利条約」をご存じですか？そして、何条まであるかご存じですか？実は、54条まであります。今回はそんな「子どもの権利条約」について、少し紹介したいと思います。

「子どもの権利条約」は、すべての子どもが平等に安全で、尊重される権利を持つことを世界中で約束するために、1989年に国連で採択された条約です。日本も1994年に批准し、すべての子どもの「生きる権利」「守られる権利」「育つ権利」「意見を表す権利」を大切にしようと努めています。

この条約に基づき、子どもたちが安心して学び、遊び、自分らしく成長できる環境を整えることが私たち大人の役割です。ご家庭でも、地域でも、子どもたちが安心して自分の意見を話し、個性を發揮できるように、ご支援をお願いできれば幸いです。

また、東温市にも「子ども権利条約」が制定されています。みなさん、是非東温市のホームページをご確認ください。

(人権同和教育主任 堀川 誠)

若葉学級の学習

特別支援学級(若葉学級)と通常の学級とは、何が違うのか、どこが特別なのかについてお伝えします。それは、通常の学級で行う教科等の授業の他に、「自立活動」の時間や「生活単元学習」などの教科・領域を合わせた授業が法律で特別に認められているということです。そして、その時間割や学習内容なども、一人一人の特性に合わせて計画することができます。今年度、若葉学級の子どもたちは、「自立活動」や「生活単元学習」として、野菜を育てて収穫・調理する活動や体幹トレーニング、自然物を活かした造形活動、コミュニケーション能力を育てることを目指した季節のお祭りなど、体験を重視した学習を行っています。一人一人の伸びを大切に教育活動を行っています。

(特別支援教育主任 茂川 哲也)



1年生さまざまな交流活動を行っています

秋も深まり、1年生は11月中旬の年長児との交流会に向けて、お店のゲームや品物の準備を頑張っています。よく回るドングリごま、松ぼっくりのクリスマスツリー、秋の実をつなげたアクセサリなど、年長児に喜んでもらうために、一生懸命作っています。並行して、2年生からおもちゃランドの招待を受けて、作ってもらったおもちゃコーナーで遊ぶ活動がありました。2年生の説明の仕方や、自分たちよりも上手に作っているおもちゃに感動する姿も見られました。また、6年生との交流では、6年生が考えた遊びを一緒にしました。上学年に甘えながらもたくさんの優しさをもらいました。上学年との交流から学んだ姿や優しさを自分たちよりも小さい年長児との交流に生かしてもらえたらと思います。

(1年学年主任 橋本 由紀子)



おいしいね、東温市の給食

給食の時間に、教室に行くと「野菜がおいしい!」と言ってくれる子どもがたくさんいます。おいしさのヒミツは、蒸し機で蒸すことにより、野菜の甘味をぎゅっと閉じ込めていること。そして、地域の生産者が大切に野菜を育ててくれているからです。東温市の給食は、生産者に支えられて、県内でも地産地消率が非常に高いです。生産者の方々は、月に1回打合せを行い、給食で使用する食材の確認や、新たな野菜の植え付けの相談等を行っています。

給食には、ご家庭では食べる機会が少ないビーツ、ケール、青パパイヤ、パクチー、紅くるり大根などの食材や、外国の料理や日本全国の郷土料理が登場します。初めての食べ物を口にすることは勇気のいることです。でも、「みんなで食べるとおいしいね」という気持ちで挑戦すると案外食べられるものです。少しずつ、いろいろな食べ物と出会い、味わい、食を通して様々なことに挑戦できるようになってほしいと思います。

学校給食は、ただお腹を満たすための昼食としてではなく、「学校給食法」という法律をもとに教育の一環として行われています。そのため、子どもたちは給食の準備から片付けまでの中で、正しい手洗い、配膳方法、食器の並べ方、箸の使い方、食事のマナー等を学んでいます。

(栄養教諭 池田 寛子)

